

平成29年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

平成29年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学の2教科の実施となりました。

国語と数学の2教科で、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	77.4%					○
国語B	72.2%					○
数学A	64.6%				○	
数学B	48.1%				○	

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	75.4%					○
書くこと	85.7%					○
読むこと	73.8%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.2%					○

【考 察】

- 全ての領域について、全国平均を上回っていますが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の文法事項や書写に関する知識で正答率の低いところが見られました。助詞・助動詞の働きや語句の意味を理解して文章を書く活動を取り入れたり、書写の基礎基本となる事項を繰り返し指導したりすることで、さらに確かな力を身につけられるよう努めていきます。
- 相手に分かりやすく伝えるために、相手の反応から伝えたいことが適切に伝わったかどうかを確認し、必要に応じて分かりやすい語句を用いて言い換えたり、複数の尋ね方を試してみたりするなどの言語活動を行っていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.4%					○
書くこと	60.8%					○
読むこと	72.1%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	41.4%					○

【考 察】

- 全ての領域について、全国平均を上回っています。伝え合う力をさらに高めるために、「話すこと・聞くこと」の領域において、相手に伝えるべき内容を整理し、効果的に資料を使うなど発表者の意図を明確にして交流活動を行っていきます。
- 「読むこと」の領域について、内容を理解する力をさらに高めるために、複数の場面や描写を関係づけて読み、登場人物の心情や表現の仕方について感想を交流する活動を取り入れていきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	70.4 %					○
図形	66.0 %				○	
関数	57.4 %				○	
資料の活用	57.6 %					○

【考察】

- 「数と式」の領域では、基本的な計算問題や方程式を解く問題がよくできています。週末課題などで復習問題を繰り返し解くことで、成果が出たものと考えます。今後も継続して問題練習に取り組ませていきます。
- 「図形」の領域では、基本的な図形の見方や作図問題がよくできています。しかし、証明に関する問題でやや全国平均を下回っているところがあります。今後は物事を筋道立てて説明する活動に力を入れていきます。
- 「関数」の領域では、基本的なグラフの見方や書き方、数量関係の読み取りがよくできています。教材を用いて1・2年の復習問題に取り組むことで、成果が出たものと考えます。今後も継続して問題練習に取り組ませていきます。
- 「資料の活用」の領域では、範囲の意味を正しく理解し、簡単な確率を求める問題がよくできています。普段の授業ではあまり扱わない領域なので、今後も継続して問題練習に取り組ませていきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	46.3 %				○	
図形	47.1 %				○	
関数	50.8 %				○	
資料の活用	49.1 %		○			

【考察】

- 「数と式」の領域では、文字を用いて数量の関係や法則などを式にしたり式の意味を読み取ったりする問題がよくできています。すべての問題で全国平均を上回っていますので、今後も授業の中で文字を用いて式にしたり、式の意味を表現したりできるように取り組んでいきます。
- 「図形」の領域では、平面図形について、性質をとらえたり見出したりする問題がよくできています。しかし、三角形の合同を証明する問題が全国平均を下回っています。自分の考えを記述することを苦手とする生徒が多いので、今後の授業の中で自分の考えを記述する活動を多く取り入れていきます。
- 「関数」の領域では、表やグラフを見て必要な情報を読み取る問題がよくできています。すべての問題で全国平均を上回っていますので、今後も授業の中で必要な情報を読み取り表現する問題練習を取り入れていきます。
- 「資料の活用」の領域では、資料の読み取りで、簡単な情報を読み取ることはできましたが、根拠を明確にして説明する問題があまりできていませんでした。今後の授業の中で根拠を明確にして説明する活動を多く取り入れていきます。